

平成30年度入学料免除申請要項

<目次>

- I 入学料免除申請について
- II 入学料徴収猶予申請について
- II 提出書類
- III 提出書類様式

<提出期限等>

提出先：学生課学生係

対象者	提出期間
推薦・専願	平成30年3月9日（金）17時まで
併願	平成30年3月16日（金）17時まで
専攻科・編入学	平成30年3月9日（金）17時まで

(注) 推薦・専願と併願で期限が異なります。

1. 申請書類に不備・不足等がある場合は受付できません。
2. 提出期限までに申請書類が提出されなかった場合は、申請がなかったものとみなします。
3. 提出期限後の提出については受付できません。
4. ご不明な点等ありましたら、学生係（TEL：0144-67-8032）までお問い合わせください。

苫小牧工業高等専門学校

I 入学料免除申請について

以下に該当し、入学料の納付が困難であると認められた者に対して、入学料を免除する制度があります。

入学料免除を希望する者は、所定の期日までに申請に必要な書類を提出してください。

1. 入学料免除の対象者

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合により、入学料の納付が困難であると認められる者
- (2) 上記(1)に準ずる場合であって、校長が相当と認める事由がある者

2. 免除決定までの留意事項

免除申請者は、免除の許可又は不許可の通知があるまで入学料の徴収を猶予されますので、入学料を納付しないでください。(免除決定前に入学料を納付した場合、免除の対象になりません。)

なお、免除決定までに退学等する場合、入学料を納付しなければなりません。

3. 免除決定の時期及び通知方法

- (1) 決定時期 免除：7月下旬頃
- (2) 通知方法 保護者及び担任宛に文書で通知します。
- (3) 不許可となった場合は、指定の期日までに入学料を納付してください。

Ⅱ 入学料徴収猶予申請について

以下に該当し、入学料の納付が困難であると認められた者に対して、入学料の徴収を猶予する制度があります。

入学料徴収猶予を希望する者は、所定の期日までに申請に必要な書類を提出しなければなりません。

1. 入学料徴収猶予の対象者

- (1) 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は当該入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害をうけ、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者
- (3) その他やむを得ない事由があると認められる者

2. 家計基準（参考例）

申請者の属する世帯の金銭、物品などの1年間の総収入金額から、必要経費、特別控除額を差し引いた金額が、収入基準額以下のものであること。

なお、収入基準額は世帯人員により、また特別控除額は家族構成等により異なります。

例えば、世帯の収入が給与所得だけ又は給与所得以外だけの場合、おおむね次の金額程度以下になります。

例 3人世帯……家族構成が両親・本人（自宅通学・奨学金なし）

4人世帯……家族構成が両親・本人（自宅通学・奨学金なし）・中学生

5人世帯……家族構成が両親・本人（自宅通学・奨学金なし）・中学生・小学生

区分	給与所得の世帯	給与所得以外の世帯
3人世帯	5 2 5 万円	3 6 8 万円
4人世帯	6 2 1 万円	4 4 3 万円
5人世帯	6 9 1 万円	5 0 2 万円

（注1）給与所得の世帯の金額は、源泉徴収票等という支払金額等（税込）です。

（注2）給与所得以外の世帯の金額は、確定申告書等という所得金額（税込）です。

（注3）規則の変更等により参考金額が変わる場合があります。

3. 学力基準

経済的理由による者の学力基準は次のとおりです。

① 新入生，第1学年及び編入学生

中学校（専攻科の学生及び編入学生は，直前に在籍していた学校）在学時の成績又は入学試験成績が入学者の上位2／3以上であること。あるいは，それと同等と認められること。

② 当該申請期直前の期末における学習成績が判明していない者は，次の各号による。

- (1) 第1学年（新入生）は，中学校等最終学年における全履修教科の5段階評定について平均した値（小数点第2位で四捨五入）が3.5以上の者とする。
- (2) 編入学生は，高等学校等最終2か年における全履修教科の5段階評定について平均した値又は調査書に記載の評定平均値の平均（少数点第2位で四捨五入）が3.5以上の者とする。
- (3) 専攻科第1学年は，高等専門学校等最終2か年における全履修教科の5段階評定について平均した値又は調査書に記載の評定平均値の平均（少数点第2位で四捨五入）が3.5以上の者、又は高等専門学校等最終学年における学習成績順位が、本人の属した系等において在籍した学生数に3分の2を乗じて得た数（小数第1位で四捨五入）以上、上位の者とする。

4. 入学料徴収猶予決定までの留意事項

徴収猶予申請者は、徴収猶予の許可又は不許可の通知があるまで入学料の徴収を猶予されますので、入学料を納付しないでください。（徴収猶予決定前に入学料を納付した場合、徴収猶予の対象になりません。）

なお、徴収猶予決定までに退学等する場合、入学料を納付しなければなりません。

5. 入学料徴収猶予決定の時期及び通知方法

- (1) 決定時期 4月下旬頃
- (2) 通知方法 保護者及び担任宛てに文書で通知します。
- (3) 不許可となった場合は、指定の期日までに入学料を納付してください。
- (4) 入学料徴収猶予となった場合は、猶予の期日までに入学料を納付してください。

Ⅱ 提出書類

1 全員が提出するもの

区分	提出書類	発行機関等
申請者全員提出	入学料免除申請書	(様式1)
	家族状況等申告書	(様式2)
	市区町村発行の所得証明書 ・平成29年度(平成28年分)分 ・合計所得金額, 課税標準額, 市民税・県民税額, 所得控除の内訳を記載したもので, <u>免除申請者と生計を一とする世帯の全員分</u> (本人, 就学者, 15歳未満, 専業主婦等含む) ※所得がなく所得証明書が発行されない場合は, <u>非課税証明書</u> ※収入がないために申告をしておらず所得証明書等に金額が記載されない者について, 無収入申立書による申立てを行う場合は, 新たに申告し所得証明書等を再取得する必要はない。	市区町村役場 ※通常6月以降に発行
	住民票(免除申請者と生計を一とする世帯全員分)の写し ※マイナンバーの記載のないものを提出してください。	市区町村役場
	決定通知用封筒(宛名と申請者の学科学年・氏名を記入したもの)	

2 該当者が提出するもの

「家族状況等申告書」(様式2)により, 該当する書類を提出してください。

※ 様式2の回答(はい・いいえ)で, 「はい」に該当する場合, その隣の欄の「提出書類」を提出していただく必要があります。(「いいえ」の場合は, 不要です。)

項番	家族(生計を一にする世帯)状況等	回答	提出書類	発行機関等
1.	年金(老齢年金・厚生年金, 遺族基礎年金, 障害者年金等)受給(4月, 10月からの受給予定者を含む)者がいる。	はい・ <u>いいえ</u>	年金振込通知書(ハガキ)等の写(年金受給者全員分)。	日本年金機構等。
2.	本年1月以降に就職又は転職した者がいる(パート等を含む)。	はい・ <u>いいえ</u>	給与支給(見込)証明書(様式3)。	勤務先。
3.	申請前6ヶ月以内に退職した者がいる。	はい・ <u>いいえ</u>	退職及び退職金支給証明書(様式4)。 退職金支給については, 退職金所得の源泉徴収票(写)でも可。	勤務先。

様式3に記入し, 事業所等に証明印を受けた後, 提出してください。

Ⅲ 提出書類様式

- (様式 1) 入学料免除申請書
- (様式 2) 家族状況等申告書
- (様式 3) 給与支給（見込）証明書
- (様式 4) 退職及び退職金支給証明書
- (様式 5) 無収入申立書
- (様式 6) 母子・父子世帯等申立書
- (様式 7) 在学及び就学状況等証明書
- (様式 8) 長期療養者に係る支出（見込）額等申立書
- (様式 9) 主たる学資負担者（家計支持者）別居に係る支出（見込）額等申立書
- (様式 10) 援助等に係る申立書
決定通知用封筒

提出日 平成 年 月 日

入学料免除・徴収猶予申請書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名

申請者氏名 (自署)

保護者 (主たる学資負担者) (申請者との続柄)

氏名 (自署)

住所及び電話番号

〒 TEL ()

平成30年度入学料を下記の理由により (免除 ・ 徴収猶予) していただきたいので、許可
くださるようお願い致します。

記

申請理由 (具体的に記入すること)

--

※徴収猶予申請者のみ記入

猶予希望年月日	平成 年 月 日まで
---------	------------

家族状況等申告書

入学組・専攻等名

免除等申請者氏名（自署）

I 以下の事項について「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲み、「はい」の場合は、提出書類を提出してください。
なお、この申告書により申請者の家族状況等を把握したうえで免除申請事務を行いますので、正しく記入してください。

項番	家族（生計を一にする世帯）状況等	回答	提出書類	発行機関等
1	年金（老齢年金・厚生年金、遺族基礎年金、障害者年金等）受給（4月、10月からの受給予定者を含む）者がいる	はい・いいえ	年金振込通知書（ハガキ）等の写（年金受給者全員分）	日本年金機構等
2	本年1月以降に就職又は転職した者がいる（パート等を含む）	はい・いいえ	給与支給（見込）証明書（様式3）	勤務先
3	申請前6ヶ月以内に退職した者がいる	はい・いいえ	退職及び退職金支給証明書（様式4） 退職金支給については、退職金所得の源泉徴収票（写）でも可	勤務先
4	雇用保険基本手当（失業給付）受給者がいる	はい・いいえ	雇用保険受給資格者証の写（受給額のわかるもの）	ハローワーク
5	雇用継続給付（高齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付）受給者がいる	はい・いいえ	・高齢雇用継続給付支給決定通知書の写（受給額のわかるもの） ・育児休業給付金支給決定通知書の写（受給額のわかるもの） ・介護休業給付金支給決定通知書の写（受給額のわかるもの）	勤務先又はハローワーク
6	免除申請者と生計を一にする者のうち、無収入かつ所得証明書または非課税証明書の発行ができない、または困難な事情がある者がいる（就学者、15歳未満、専業主婦等含む）	はい・いいえ	無収入申立書（様式5）	
7	児童扶養手当受給世帯 ^{*1}	はい・いいえ	児童扶養手当受給証の写（受給額のわかるもの）	市区町村役場
8	特別児童扶養手当受給世帯 ^{*2}	はい・いいえ	特別児童扶養手当証書の写（受給額のわかるもの）	市区町村役場
9	被爆者健康管理手当受給者がいる	はい・いいえ	被爆者健康管理手当証書の写（受給額のわかるもの）	市区町村役場
10	傷病手当受給者がいる	はい・いいえ	傷病金手当金支給決定通知書の写（受給額のわかるもの）	全国健康保険協会等
11	生活保護法による扶助費受給世帯	はい・いいえ	保護決定（変更）通知書の写（受給額のわかるもの）	福祉事務所
12	児童手当（旧子ども手当）受給世帯 ^{*3}	はい・いいえ	児童手当認定通知書の写（受給額のわかるもの）	市町村役場 ※公務員の場合は勤務先
13	事業所得 ^{*4} により収入を得ている者がいる	はい・いいえ	確定申告書（控）の写（事業所得のある方の全員分） ※所得証明書と同じ年度のもの	税務署
14	転作奨励金等の交付を受けている者がいる	はい・いいえ	所得補償交付金等、転作奨励金の支給額がわかるもの	農協・市区町村役場
15	申請前6ヶ月以内に保険金を受け取った者がいる	はい・いいえ	保険金支払い通知書の写	保険会社等
16	申請前6ヶ月以内に資産の譲渡を受けた者がいる	はい・いいえ	確定申告書（控）の写又は売買契約書の写	税務署
17	申請前6ヶ月以内に山林所得があった者がいる	はい・いいえ	確定申告書（控）の写又は売買契約書の写	税務署

18	申請前6ヶ月以内にその他の臨時的所得があった者がいる	はい・いいえ	受領額がわかるもの	税務署
19	親戚・知人等からの援助や養育費等を受けている世帯	はい・いいえ	援助者等の署名押印による援助額の年額を記載した申立書(様式10)	援助者等 ※援助者等による署名押印が困難な事情がある場合は保護者
20	申請者が給付型の奨学金を受給している	はい・いいえ	奨学金決定通知書の写(申請の前年度1年間に実際に受けた額がわかるもの、申請年度の受給(見込)額がわかるもの)	給付者等
21	母子・父子世帯等	はい・いいえ	母子・父子世帯等申出書(様式6)	
22	申請者(学生本人)の他に就学者がいる	はい・いいえ	在学及び就学状況等証明書(様式7) ※兄弟等が小中学校児童生徒、本校学生の場合は不要	就学者のいる学校
23	障害者(申請者本人を含む)がいる、または要介護3以上の認定を受けている者がいる	はい・いいえ	・身体障害者手帳等の写 ・介護保険被保険者証の写	
24	申請時において6ヶ月以上にわたり療養中若しくは療養を要する者がいる(介護保険法により、要介護認定を受けている者がいる世帯を含む)	はい・いいえ	・長期療養者に係る支出(見込)額等申立書(様式8) ----- ・医師等の証明書 ・申請前6ヶ月間に経常的に支出している金額を証明できるもの(領収書等) ----- 高額療養費制度等、健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額がある場合はその金額がわかるもの	・病院等 ・看護人 ・薬局 ・介護サービス提供事業者
25	主たる学資負担者(家計支持者)が別居している世帯	はい・いいえ	・主たる学資負担者(家計支持者)別居に係る支出(見込)額等申立書(様式9) ・直近3ヶ月間の家賃及び光熱水道費の金額を証明できるもの(領収書等)	
26	授業料納付期限前6ヶ月(新入生は1年)以内に学生若しくは学資負担者が風水害等の災害 ^{※5} 、盗難等の被害を受けた世帯	はい・いいえ	罹(被)災証明書又は盗難届の証明書(届出受理番号等) ----- ・日常生活の必需品に被害を受けた場合は、最低限度の衣料、家具の購入費、修理費等(生活必需品に限る)に関する領収書等 ・生産手段(田・畑・店舗等)に被害を受けた場合は、長期にわたって収入源を予想される年間金額及びその事実がわかるもの	消防署・市区町村役場 又は警察署
27	授業料納付期限前6ヶ月以内(新入生については入学前1年以内)に学資負担者が死亡した世帯	はい・いいえ	戸籍(除籍)謄本又は死亡を証明する書類	市区町村役場等

※1 父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子供が育成される家庭に支給される手当

※2 20歳未満で精神又は身体に障害を有する児童を家庭で看護、養育している父母等に支給される手当

※3 支給条件等は厚生労働省のホームページ等で確認してください。

※4 ①商業、工業、農・林業、漁業、その他の職業(開業医、弁護士、著述業、公認会計士、税理士、外交員、浴場業、理美容業、旅館業、クリーニング業等)に在る所得及び②利子、配当、家賃、間代、地代などの雑所得

※5 震災、風水害、火災その他の災害

(様式2 二枚目)

II 家族（生計を一にする世帯）及び所得について記入してください（主たる家計支持者の続柄に○を付けてください）

続柄	氏名（年齢）	職業	給与所得 ^{※1}	給与所得以外の所得 ^{※2}	就学者のみ記入			
					学校種	学校名	学年	通学区分
本人	()	高専学生	千円	千円	国立	苫小牧高専	年	自宅 自宅外
計			千円	千円				

※1 俸給，給料，賃金，歳費，年金，恩給，賞与及びこれらの性質を有する給与等（扶助料，傷病手当金等を含む）の合計額（税込，千円未満は切り捨て。複数ある場合は，千円未満を切り捨てた後に合計。）。

※2 商業，工業，農・林業，漁業，その他の職業（開業医，弁護士，著述業，公認会計士，税理士，外交員，浴場業，理美容業，旅館業，クリーニング業等）による所得，利子，配当，家賃，間代，地代などの雑所得，退職（一時）金，保険金，資産譲渡所得，山林所得等の臨時所得，親戚・知人等からの援助や養育費等，本人奨学金（給付型）などの合計額（千円未満は切り捨て。複数ある場合は，千円未満を切り捨てた後に合計。）。

以下 学校記入欄

特別の事情	特別控除額
①母子・父子世帯	千円
②就学者のいる世帯	千円
③障害者のいる世帯	千円
④長期療養者のいる世帯	千円
⑤主たる学資負担者（家計支持者）が別居している世帯	千円
⑥火災，風水害，盗難等の被害を受けた世帯	千円
⑦父母以外の者で収入を得ている者のいる世帯	千円
⑧本人を対象とする控除	千円
計	千円

提出日 平成 年 月 日

給与支給（見込）証明書

事業所代表者 殿

就業者氏名（自署） _____

住所 _____

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	苫小牧工業高等専門学校
学科・専攻	工学科
学年	年
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 採用年月日 平成 年 月 日

2. 採用の形態 常勤 非常勤（パート等） _____

3. 採用の翌月から1年間の給与支給（見込）額 _____ 円

4. 直近3ヶ月分の給与支給額等

※3に記入がある場合は記入不要です。

平成 年 月 支給額 _____ 円

平成 年 月 支給額 _____ 円

平成 年 月 支給額 _____ 円

5. 賞与（ボーナス）等の有無 有 無 _____

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

事業所名 _____

事業所所在地 _____

連絡先 _____

代表者名 _____ 印

提出日 平成 年 月 日

退職及び退職金支給証明書

事業所代表者 殿

氏名 (自署) _____

住所 _____

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	苫小牧工業高等専門学校
学科・専攻	工学科
学年	年
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 退職年月日 平成 年 月 日

2. 退職者氏名 _____

3. 退職金の有無 有 無

退職金支給日 平成 年 月 日

退職金支給額 _____ 円

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

事業所名 _____

事業所所在地 _____

連絡先 _____

代表者名 _____ 印

提出日 平成 年 月 日

無収入申立書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名 _____

免除等申請者氏名 (自署) _____

保護者 (主たる学資負担者) (申請者との続柄 _____)

氏名 (自署) _____

住所及び電話番号

〒 _____ TEL () _____

免除申請者と生計を一にする者のうち、無収入である者は下記のとおりです。

記

氏名 (年齢)	申請者との続柄	現住所
()		〒
()		〒
()		〒
()		〒
()		〒
()		〒
()		〒

提出日 平成 年 月 日

母子・父子世帯等申立書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名

免除等申請者氏名 (自署)

保護者 (申請者との続柄)

氏名 (自署)

住所及び電話番号

〒 TEL ()

世帯状況等は下記のとおりです。

記

1. 母子・父子世帯等の別 母子世帯 父子世帯 その他
2. 母子・父子世帯等となった事由 生別 死別 (左記の事由の発生日:平成 年 月 日)
3. 以下の手当等のうち、現在受給されているもの
 - 親戚・知人等からの援助及び養育費等
※援助者等の署名押印 (援助者による署名押印が困難な事情がある場合は保護者) による援助額の年額を記載した申立書 (様式10) を提出してください。
 - 児童扶養手当
※児童扶養手当受給証の写しを提出してください。
 - 遺族基礎年金
※年金振込通知書 (ハガキ) 等の写を提出してください。

提出日 平成 年 月 日

在学及び就学状況等証明書

証明を依頼する者（貴学に就学している者）

学部・学科・専攻等名

学年 年 学籍番号

氏名（自署）

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	苫小牧工業高等専門学校
学科・専攻	工学科
学年	年
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 通学状況 自宅 自宅外

2. 設置区分・学校種別

設置区分	<input type="checkbox"/> 国立	学校種別	<input type="checkbox"/> 大学・短期大学	<input type="checkbox"/> 専修学校（専門課程）
	<input type="checkbox"/> 公立		<input type="checkbox"/> 高等専門学校	<input type="checkbox"/> 専修学校（高等課程）
	<input type="checkbox"/> 私立		<input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 中等教育学校（後期課程）
			<input type="checkbox"/> その他（)	

3. 平成28年度の授業料免除状況等（国立学校のみ記入願います）

前期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請無	免除額	円
後期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請無	免除額	円

授業料年額 _____円

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

学校名 _____

所在地 _____

連絡先 _____

担当者役職・氏名等 _____

印 _____

※証明する方は事務担当で結構です。

提出日 平成 年 月 日

長期療養者に係る支出（見込）額等申立書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名

免除等申請者氏名（自署）

保護者（主たる学資負担者）（申請者との続柄（ ））

氏名（自署）

住所及び電話番号

〒 TEL ()

免除申請者と生計を一にする長期療養者に係る支出（見込）額等は下記のとおりです。

記

氏名	申請者との続柄	現住所
		〒

1 直近6ヶ月間の支出状況等

	①診療費等経常的に支出している金額（自己負担額※）	②損害賠償等によって補てんされる金額	計（①－②）
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
計			

※医療保険・介護保険等の適用があるもののうち自己負担分を記入して下さい。

※申請前6ヶ月間に経常的に支出している金額を証明できるもの（領収書等）を添付して下さい。

2 今後1年間の支出（見込）額 _____ 円

※「長期療養者」とは、申請時現在において6ヶ月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者です。療養が終わっている者は該当しません。療養の期間・内容については医師の証明書等で確認します。

※「2 今後1年間の支出見込額」には、今後の療養見込期間を考慮し、年間の療養期間に見合った支出金額（千円未満切り捨て）を見込金額として記入してください。年間支出見込金額の計算にあたっては、直近6ヶ月間（療養期間が6ヶ月未満の場合は、全期間）の月額平均を1.2倍したものを年間支出見込金額としてください。

※長期療養者が複数いる場合は、療養者ごとに申立書を作成し、証明書を添付して提出してください。

※裏面参照

※対象費目等

①対象費目（保険適用分に限る）
医師又は歯科医師への診療・治療費
病院，診療所への入院費用
マッサージ師，はり師，きゅう師，柔道整復師等の治療費
治療又は療養のための医薬品費（治療用装具含む）
病院，診療所に通院するための交通費（必要不可欠なものに限る）
看護人に対して支払う費用（賄い費を含む）
介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた者がサービスを利用した場合の自己負担額
※高額療養費制度等，健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額を除く。 ※老人ホームの入所費や光熱費，差額ベッド代，食費は含まない。 ※食事療養費，保険適用外の文書料は含まない。
②必要となる証明書等
・ 医師等の証明書 ・ 経常的に支出している金額を証明できるもの（領収書等） ・ 高額療養費制度等，健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額がわかるもの

提出日 平成 年 月 日

主たる学資負担者（家計支持者）別居に係る支出（見込）額等申立書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名

免除等申請者氏名（自署）

保護者（主たる学資負担者）（申請者との続柄）

氏名（自署）

住所及び電話番号

〒 TEL ()

主たる学資負担者（家計支持者）の別居に係る今後1年間の支出（見込）額等は下記のとおりです。

記

1 別居（見込）期間等

別居（見込）期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
勤務先名等	

2 直近3ヶ月間の支出状況等

	住居費	光熱費等			計
		電気	ガス	水道	
年 月分					
年 月分					
年 月分					
計					

※領収書の写等，主たる学資負担者（家計支持者）が支出した金額のわかるものを添付すること

3 今後1年間の支出（見込）額 _____ 円

※「別居」とは，申請時現在において，現に別居中であることをいいます。

※今後の別居見込期間を考慮し，年間の別居期間に見合った支出金額（千円未満切り捨て）を見込金額として記入してください。

年間支出見込金額の計算にあたっては，直近3ヶ月間（別居期間が3ヶ月未満の場合は，全期間）の月額平均を1.2倍したものを年間支出（見込）金額としてください。

※住居費においては，会社等が住居費を直接支払っている部分については記入しないでください。

提出日 平成 年 月 日

援助等に係る申立書

苫小牧工業高等専門学校長 殿

入学組・専攻等名

免除等申請者氏名(自署)

援助者等 ※

氏名(自署)

印

住所及び電話番号

〒 TEL ()

入学料免除申請にあたり、下記のとおり申し立てます。

記

【申立内容】

免除申請者に対し養育費等の援助を行っている場合、援助額の年額を記載してください。

※援助者等による署名押印が困難な事情がある場合は保護者が記載してください。